

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間（4/16~5/25）中における通信機器等の利用に関するアンケート調査

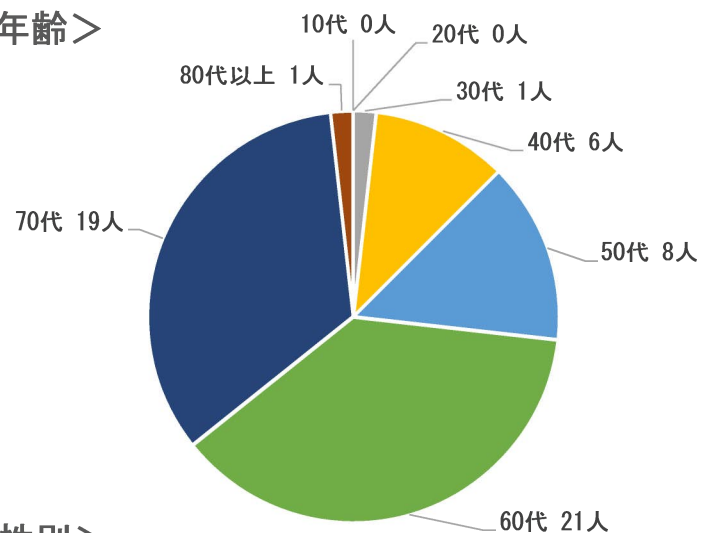
○アンケート開始日：令和2年8月10日（月）

○アンケート対象者：市政モニター（65名）

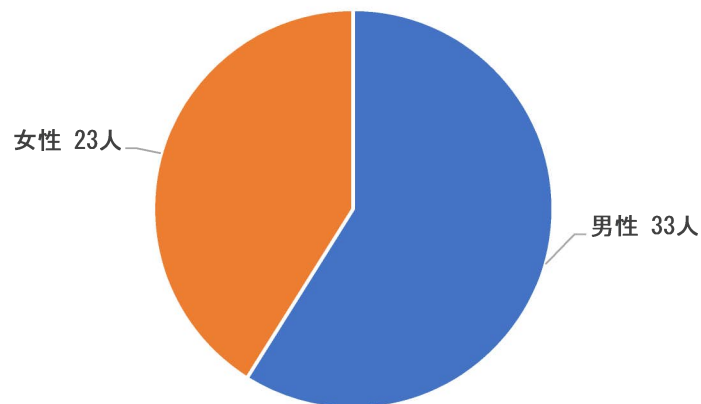
○回答数：56名

ご回答者様の基本情報

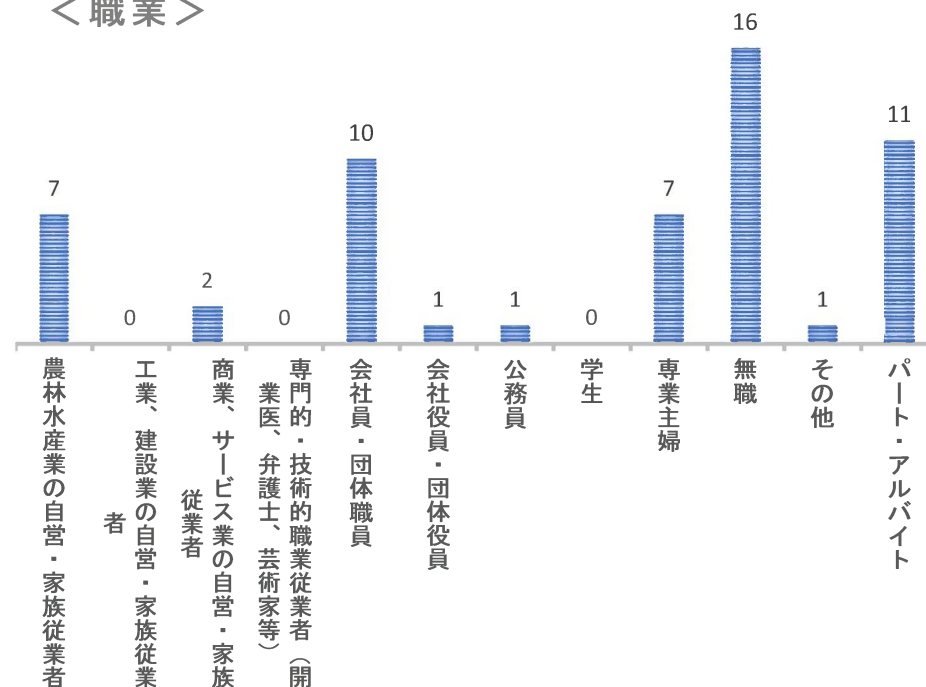
<年齢>



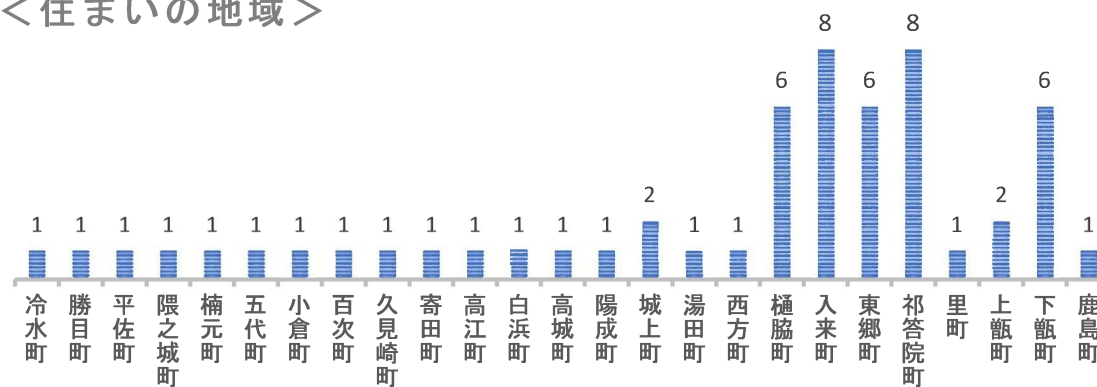
<性別>



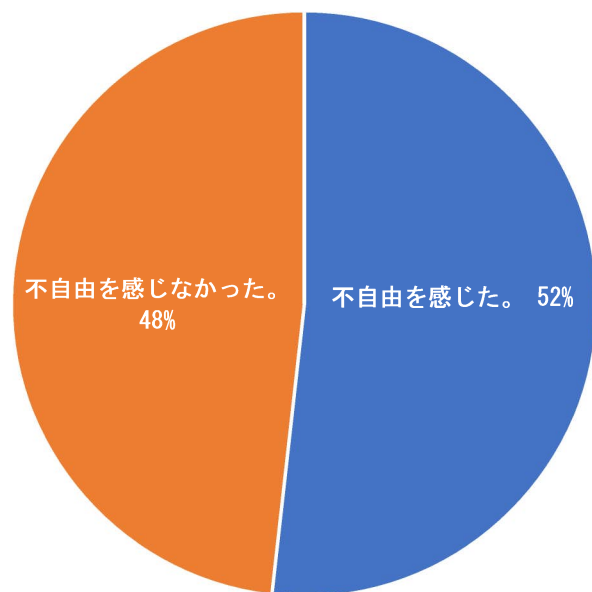
<職業>



<住まいの地域>

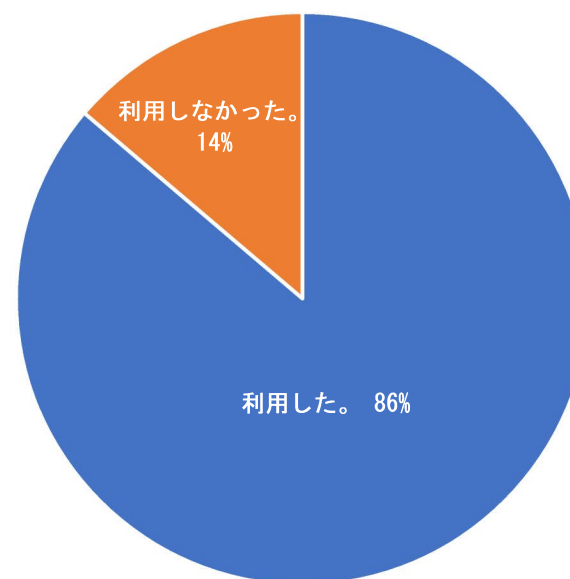


問1 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中、ステイホーム（外出自粛）が実施されたことにより、不自由を感じましたか？



都市部と過疎部の新型コロナウイルス感染者数や環境の違いなどもあるが、外出自粛の不自由を感じた者、感じなかった者の年齢割合や性別、地域、職業も同じぐらいの割合であった。回答者の生活環境により、感じ方が違うと推察される。

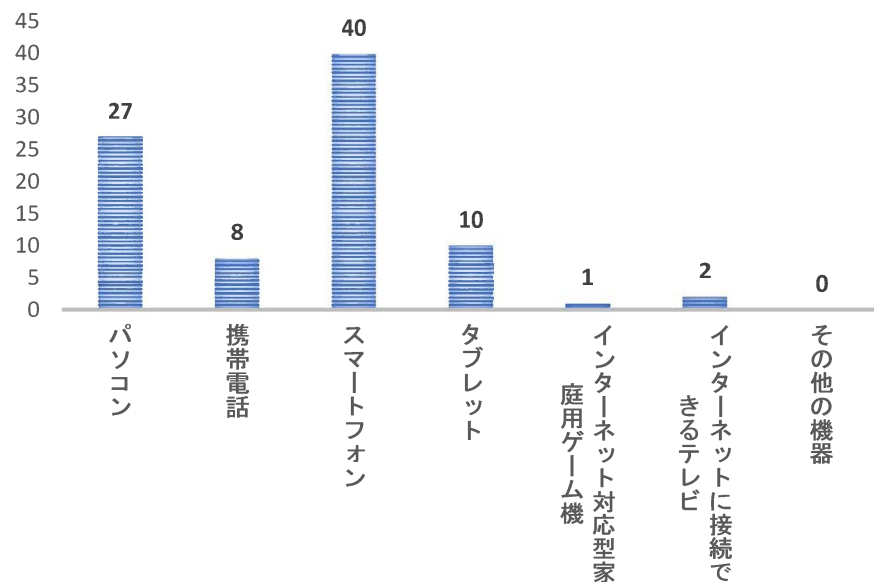
問2 不自由を感じたことを解決するために、通信機器等（携帯電話、スマートフォン、インターネット等）を利用されましたか？



問1「不自由を感じた。」者の86%が通信機器等を利用している。
何かしら、不自由さを解消する手段として、通信機器等を利用していることが推察される。
また、通信機器等を利用した者の年齢別では、50代・60代がもっとも多く、70代以上になると少ない傾向である。

問3 通信機器等を利用された方にお訊ねします。使用された通信機器等は、何ですか？（複数回答可）

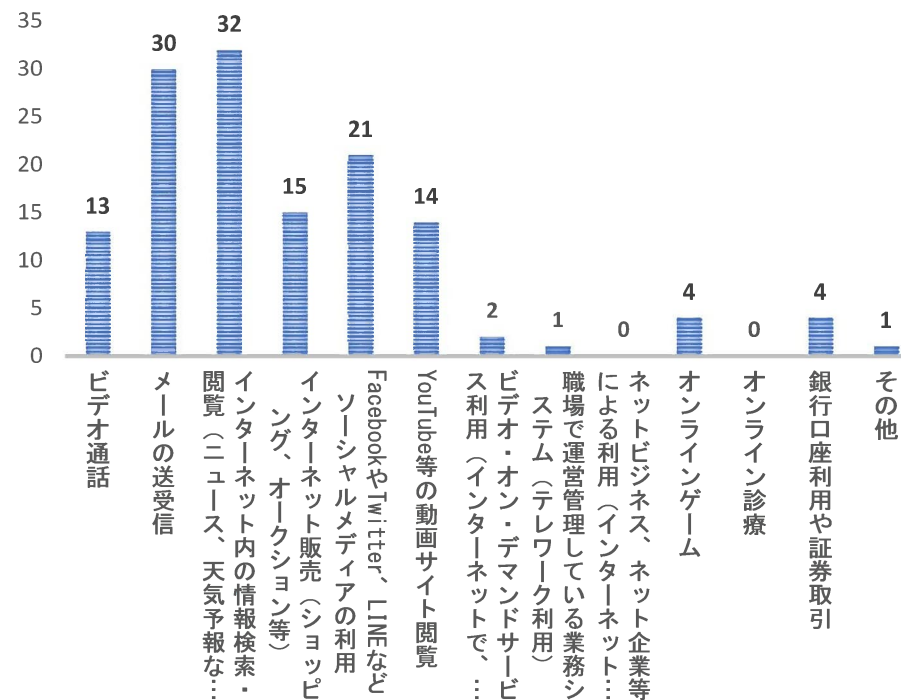
※新型コロナで不自由を感じなかった者の通常使用状況も含む※



無線環境で利用できるスマートフォン40%、携帯電話8%が半数を占めているが、自宅にインターネット回線を引き、パソコン等を利用している市民も、およそ3割いることが分かる。また、インターネットに接続したテレビや家庭用ゲーム機を利用している市民も少数いることが分かった。

問4 使用された通信機器等で、何を利用されましたか？（複数回答可）

※新型コロナで不自由を感じなかった者の通常使用状況も含む※



コミュニケーション、情報収集、動画閲覧、オンラインゲーム、ネットバンクなどを通信機器等を使用し、利用をされていることが分かる。

しかし、テレワークやネットビジネス等の利用は殆どなく、今後、新しい生活様式の浸透により、働き方が変わること、通信インフラ整備は、必須となると思われる。

問5 不自由に感じたものの、通信機器等を利用せずに、解決された方は、どの様に解決されましたか？（自由意見可）

<解決できた>

70歳代・女性：テレビ情報、知人からの口コミ等

80歳代以上・女性：かねてより、生活協同組合を利用しているので、買い物には支障は無かった。

70歳代・男性：通信機器等を利用するまでは、至っていない。

60歳代・男性：テレビ、ラジオ、その他雑誌等から、何かしらヒントとなるようなことをメモ書きし、それを応用していた。

70歳代・女性：市内放送のボリュームを上げていた。

<解決できなかった>

70歳代・男性：入所者の面会が出来なかった。（見舞い等）

80歳代以上・女性：介護施設に入所している家族とのスマホ面会を一度したが、認知症があるため、うまく出来なかった。

60歳代・男性：東京より友人が訪問する予定でしたが、緊急事態宣言が発出したため、中止となり、宣言解除後と思っていたが、依然として感染者の増加が止まらないので、今年は中止しました。

<自由意見等>

80歳代以上・女性：閉塞感はあったが、不便は感じなかった。

70歳代・男性：地区の諸行事が中止となり、地域の活性化が失われていくようです。

50歳代・女性：家庭内の断捨離を行い、家の中がすっきりしました。

60歳代・男性：ツーリングなど

50歳代・男性：ネット回線が光でなく、通信状態が悪い事を痛感したが、自分自身に「がまん」と言い聞かせた。

60歳代・女性：通信環境がADSLの為、通信が遅い。早く、一般家庭にも光ファイバが来るようにしてください。テレワークも出来ない。

60歳代・男性：新型コロナウイルスに関する薬を早く作って欲しい。日々怖い。

70歳代・男性：ネット環境の整備が急がれます。

70歳代・男性：ネット通販利用が増えた。

40歳代・女性：病院で診察を受ける際、かかりつけ医がオンライン診療等に対応していないので、電話等を使用して、連携を図った。